

学校教育目標

「かしこく やさしい 元気な子 ひかり輝く 茅ヶ崎台」

- 基礎基本を身に付け、自ら問題を発見し、意欲的に学び続ける力を育てます。（知）
- 善いこと、悪いことをきちんと判断し、自分や相手を大切にできる態度を育てます。（徳）
- 規則正しい生活習慣を身に付け、心身ともにたくましく生きる力を育てます。（体）
- 自分らしい夢や目標をもち、自ら考え行動する態度を育てます。（公）
- 自他の違いを受け止めながら、人とのコミュニケーションを通して、ともに生きていく力を育てます。（開）

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	茅ヶ崎中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・伝え合うことで、自分の考えを深化させ、集団の考えを発展させる力。 ・自らの心身の健康を管理し改善する力。 ・夢や希望をもち、よりよく生きようとする姿勢。 	茅ヶ崎中学校 茅ヶ崎小学校 茅ヶ崎東小学校	魅力ある中学校区づくり～小中教科指導の工夫～ <ul style="list-style-type: none"> ・前向きに学習し向上心のある子ども。 ・協力して仲間づくりをする子ども。 ・地域とともに支えあう温かい子ども。 <実施した取組> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫推進協議会（6月、11月） ・中学生と小学生の交流（3月）

中期取組目標振り返り

○かしこく やさしい 元気な子 の育成を目指して

- ・共同で教材・授業研究に取り組み、主体的に問題を解決し、互いに学び合おうとする子どもを育むべく、全職員が意識して授業づくりに取り組みました。評価の考え方について理解を深めました。
- ・食育タイムが定着し、より子どもたちの食に対する意識が高まりました。学校保健委員会と連携して心と体の健康に関する取組を充実させたことで、自身の健康に目を向ける子どもが増えました。
- ・感染防止対策を講じながら異学年交流を通してコミュニケーション能力の向上を図りました。
- ・生活科や総合的な学習の時間の材の開発、ちがはたくんの活動を通して地域とより関わりをもち、子どもたちが地域の魅力を実感する機会を設けることができました。

重点取組分野	自己評価結果
生きてはたらく知	①「学習のきまり」は、今後も継続的に定着を図る。②重点研では、児童が思いを進んで話す姿がみられる場面が増えました。根拠をもとに思いを伝える力は、引き続き目指していきます。評価についてもより理解を深めていきます。ICTの活用についてはルール面のみでなく、より効果的な活用を模索していきます。
豊かな心	①全校遠足やなかよし学年遊びでは、下学年と一緒に楽しく活動できるように、上学年が計画的に準備を進め、実践する力を身に付けることができました。②各クラスで話合いの機会を設けたり、外部講師を招いて学習機会を設けたりして、意識向上を目指しました。さらに保護者の皆様への周知方法を検討していきます。
健やかな体	①保健学習を通して、子どもたち自身の健康課題に対応できる力の育成を図りました。②食に対する意識が高まりました。食育タイムが子どもたちに浸透し、自分の食生活の見直しにつなげようとする姿が見られました。③学校保健委員会のテーマのもと、年間を通して心と体の健康を意識する取組を行いました。
児童指導	①振り返りの場を設け、意識が少しずつ高まってきました。今後も学年ごとに重点項目を決めて徹底を図ります。②年2回以上の実施が定着してきました。研修の機会を設け、より活用できるよう支援検討会の実施の仕方を検討していきます。③制限のある中でも外部の講師を招き、特別支援教育の研修を行うことができました。
特別支援教育	①教室掲示等、基本から本校のユニバーサルデザインの取組について見直しました。共通理解をさらに図るため、教職員からアイデアを募り、全校で取り組む内容を決めていきます。②特別支援教室において、個別の支援に努めました。特別支援教室での取組を周知する方法を検討していきます。
いじめへの対応	①学校生活アンケートの成果が確実に表れています。思いを表記することができない児童の見取り方を検討していきます。②人権週間と関連させた人権キャラバンの取組を通じて、人権について改めて考える機会を設けました。③いじめ防止対策委員会において、専任を中心に、早期の認知、再発防止、未然防止に努めました。
人材育成・組織運営 （働き方改革）	①研究の新しい形を作り、時間に融通を利かせて教職員のスキルアップに取り組みました。②働き方改革推進研修を実施し、教職員の意欲向上に努めました。